

26

第20回図書館総合展ご来場者様各位

平成30年10月30日

Project Lie

Project Lie「図書館情報学チャンネル」 放送周期変更に関するお詫び

平素は本プロジェクトのインターネット放送番組「図書館情報学チャンネル」をご視聴いただき、誠にありがとうございます。

本プロジェクトは、「第12回図書館総合展」の中で開催された『賞金総額100万円！L-1グランプリ2010～若手ライブラリアンのためのワークショップ式登壇～』をきっかけに結成されたチームであり、当時の出場チームの中で8年経った現在もなお活動を続けている希少な存在でもあります。

特に、主たる活動である「図書館情報学チャンネル」は、図書館や教育関連の最新ニュースを映像で分かりやすく解説する番組を毎週配信し、400回近い放送実績を重ねるなど、図書館系YouTuberの走りとして業界内でも歴史ある存在となっております。

しかしながら、今年度の上半期より、当番組は放送周期の間隔を段階的に長期化させ、最終的には**放送頻度を「年1回」まで削減**することに至りました。このような大規模な変更の際し、視聴者の皆様に十分な事前告知期間を設けることができず、唐突な放送中止のような誤解を生じさせ、混乱を招いてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、当番組の放送頻度削減は、下記の理由に伴う総合的判断によるものです。毎週ご視聴頂いていた皆様には誠に申し訳ございませんが、ご理解・ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

記

【理由1】元祖図書館系動画配信メディアとしての使命の完遂

図書館情報学チャンネルは、YouTuberという単語が流行する遙か以前から動画配信活動を開始し、毎週という高頻度で生放送することで、その情報発信価値を実際的に示してまいりました。

昨今、YouTuberという俗称で、定期的に動画配信を行う個人的活動が社会全体へ普及し、図書館や学術情報業界においても動画配信活用の事例が増加する傾向が見受けられるようになりました。

これにより、図書館業界における動画配信活用を切り拓くイノベーターとしての目標は達成されたと考えられ、後継の若い方々へ視聴者層と帯域を譲るべく、従来の高頻度放送を発展的に解消することと致しました。

【理由2】メンバのライフステージの変化へ柔軟に適應する「働き方改革」

Project Lieは結成から8年が経過し、メンバも次々と新たなライフステージへ進むようになりました。直近では1名のメンバが結婚、2名のメンバが子の誕生を迎え、夜間放送による家庭への負担増加は望ましくないという議論が生じました。

このような状況のなか、老若男女問わず誰もが働きやすい環境であるべき図書館業界を代表するプロジェクトとして、率先して働き方改革を断行することに致しました。週1回放送を年1回放送へ変更することで、当放送に係る年間従事時間数の98%を削減することに成功しました。これはむしろ、図書館業界における働き方改革のロールモデルとなることを確信しております。

以上

図書館総合展
連続出展8年目



(参考) 昨年のポスター

Poster for Project Lie, featuring text and a small image of a person. The text includes 'by Project Lie' and '龍川真向プロデューサーご成婚!'.